

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)太秦中筋町マンション	階数	地上5F
建設地	京都市右京区太秦中筋町11番地1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域/第1種中高層住居専用地域, 準防火地域	平均居住人員	118 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 0.0	評価の実施日	2019年8月23日
敷地面積	2,014.52 m ²	作成者	長谷川 豊
建築面積	1,129.38 m ²	確認日	
延床面積	4,640.14 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 66%
④上記+ 66%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	「変化」と「京都らしさ」が混在する新たな集合住宅の実現を目指します。	
Q1 室内環境	積極的に内装仕上及び天井裏の仕様材料にF☆☆☆☆を採用し、シックハウス対策にも取り組んでいます。	その他 特になし
Q2 サービス性能	劣化対策等級3を取得予定で住宅の品質確保に努めています。	特になし
Q3 室外環境 (敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	太陽光パネルを設置することでノンカーボンの実現に微力ながら貢献しています。	
LR2 資源・マテリアル	地域産木材の利用に努めます。	
LR3 敷地外環境		特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい